第四回スマートフォン教室

Wi-Fiについて　講師：川口やすひろ

　第四回目のスマートフォン教室は**「Wi-Fiについて」**です。Wi-Fiとは無線インターネットのことです。
　スマートフォンにあってガラケーに無い機能のひとつに、Wi-Fi機能があります。このWi-Fi機能を活用すれば、スマートフォンでのインターネットをより高速に、無料に近いカタチで行うことが出来るのです！

　街中で右のようなシールが貼ってある店舗を見かけたことはありませんか？これはソフトバンク社が提供しているWi-Fiサービスです。今、街のあちこちでこのような**Wi-Fiスポット（ホットスポット）**と言う場所が増えて行っています。
　Wi-Fiスポットを使う場合、契約が必要になりますが、何もWi-Fiスポットは有料のものばかりではありません。

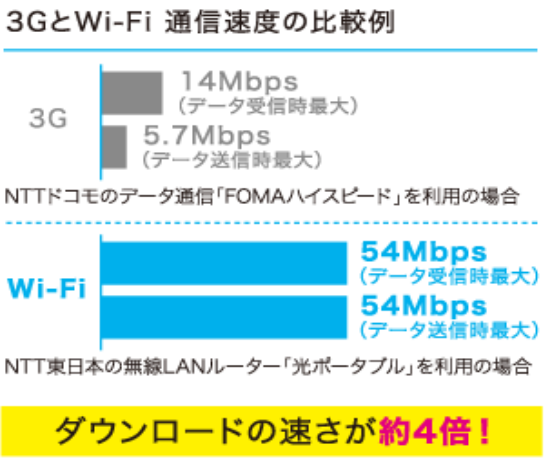
　自宅でWi-Fiを使いたい場合は、左のようなWi-Fi発生装置を設置すれば可能です。
　最近のルーターにはWi-Fiを発生させる機能を持っているものもあります。設定をするだけで自宅にもWi-Fiスポットを作ることが出来るのです。
　Wi-Fi発生装置は1つ2000円程度で、自宅のインターネット月額費以外には料金は発生しませんので非常に安価で済みます。

3G回線とWi-Fiの違い。
皆さんが普段スマートフォンでインターネットする時に使っているのは3G回線です。
3G回線とWi-Fiの最大の違いはその回線速度にあります。
【3G】 回線速度が遅いが、移動しながら使えたり、提供エリアが広い
【Wi-Fi】 回線速度は速いが、移動しながらだと切れやすかったり、提供エリアは狭い
という違いがあります。自宅のWi-Fiに関しては提供エリアは自宅内に広がる為、切れる心配はありませんが、UQ WiMAXのような契約型Wi-Fiは提供エリアがまだ狭いです。

WiMAXとは、UQ WiMAXが提供している契約型Wi-Fiサービスです。携帯型WiMAX発生装置を買取かリースで使い、発生装置圏内でWi-Fiを使うことが出来るサービスです。
メリットは、高速インターネットが可能であることです。デメリットは直ぐに回線接続が出来ない・エリアが狭い等があります。
月額1800円台で導入出来るので、前回のイオンSIMと比較して導入される方が多いです。
回線代節約のため、自宅のインターネットをWiMAXで導入する独り暮らしの学生やビジネスマンが多いです。

イーモバイルからはPocketWi-Fiが提供されています。
月額契約型Wi-Fiで、エリアも広いです。
3G回線の次の手段としてWi-Fiを全面的に推しているキャリアも現れました。

KDDIではスマートフォンにWiMAXルーターの機能を持たせた機種を販売しています。
月額利用料金は525円ですが、3G契約を必須としているので、どのみち6000円程の維持費が掛かります。
ただ、40Mの高速回線を月額525円で利用出来るので**自宅のインターネットをWiMAXスマートフォンで統一する**学生も居ます。



Q：Wi-Fiって速いの？
A：速いです。
3G回線の10倍位の速度が出ます。また、利用者も少ないので回線混雑もありません。しかし、提供エリアの狭さと移動中のキレ具合からまだまだ本格的に普及していくには時間がかかりそうです。
WiMAX2という次世代通信も開発が進んでおり、将来的には期待できそうです。次世代通信のLTEやxiと呼ばれる規格とWiMAXがどこまで勝負出来るかが注目されています。

まとめ

Wi-Fiとは・・・「無線インターネット」です。
スマートフォンやタブレットにはWi-Fi機能が付いており、Wi-Fiを使ってインターネットを使うことができます。携帯型ゲーム機でもWi-Fiを使い、インターネット対戦をすることが出来る時代です。
Wi-Fiの利点と欠点を理解し、巧く活用することでより一層スマートフォンライフがうるおいます。自宅にWi-Fiを導入すれば、インターネット契約の月額料金だけでWi-Fi対応機器でインターネットをすることが出来るのです。
ただ、問題もあります。無線インターネットと言うだけあって、盗聴されることがあります。暗号化方式は多数ありますが、その大半の暗号化は破ることが出来てしまいます。盗聴されると、インターネット回線を使われてしまい、意図せぬ事態に結びつきます。
Wi-Fiを扱う場合は、その性質や特徴をよく理解してから使う必要があるのです。